



学校教育目標

「豊かな心を育み、たくましく生きる力を養う教育活動を推進する」



めざす子どもの姿

「心」を育てる

- 命を大切にする心
- 自分も大切にし、互いに協力しようとする気持ち
- 他者を思いやり、みんなが気持ちよく過ごせるように、あたたかい言葉をかけるなど、自分にできることをしようという気持ち
- 「ありがとう」「やってみよう」「あなたらしく」「なんとかなる」という心

「学ぶ力」を育てる

- 「わかる」「できる」喜びなど学びの楽しさを味わう
- 主体的・対話的な学習を通じて深い学びに向かう資質・能力
- 家庭学習の習慣を身に付け個に応じた基礎的・基本的な学力の確かな定着

健やかな「心」と「体」を育てる

- 自分の体の成長や健康に対する知識や関心を高め、運動を習慣づける。
- 健康的な生活習慣を身に付ける。
- 普段の体育授業で運動の楽しさに触れ、スポーツに親しむ。

今年度の学校経営の重点

毎日行きたくなるウェルビーイングな学校をつくる

最重要目標1 安全・安心な教育の推進

重点

「いじめ・不登校の未然防止」と「自己効力感の向上」

取り組み内容	指標	目標値
・いじめアンケートを(5月、7月、11月、2月)に行い、いじめ対策委員会を中心校内の状況を全教職員で点検し共通理解するとともに、いじめと認められる事象について迅速かつ組織的に対応する。	・令和7年度末の4回のいじめアンケートで、学校で認知したいじめの解消した割合	100%
・体験的な活動の充実を図るとともに、様々な学習において地域人材を活用して、地域との連携をさらに深める。	・令和7年度末の学校アンケート(児童)で、「体験が勉強になった(できた。わかった。楽しかった)と思う」の肯定的な回答の割合	90%

<特色ある取り組み>

- ・いいとこさがし
- ・あいさつの励行
- ・いのちの授業
- ・異学年集団(スマイル班)による班活動



深い児童理解と根気強い対応

体験活動の充実

最重要目標2 未来を切り開く学力・体力の向上

重点

「児童一人一人の状況に応じた学びの推進」と「体力・運動能力の向上」

取り組み内容	指標	目標値
・授業や短時間学習(モジュール)において、個別最適な学習ができるような取り組みを行う。	・令和7年度の小学校学力経年調査における学力に課題の見られる児童の割合(%) (国語・算数)	(前年度より) -1%
・課題に対し、既習内容や実体験をもとに予想を立て、実験や観察を進めていくことで、より理科を身近に感じることができるよう工夫を行う。	・令和7年度の小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合	80%
・体育授業で運動の楽しさ(特性)に十分ふれるようにする。	・令和7年度の校内アンケートにおける「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合	70%

<特色ある取り組み>

- ・活用力の向上
- ・自主学習の定着
- ・トップアスリート出前授業

個別最適な学習

体力・運動能力の向上

最重要目標3 学校の教育環境の充実

重点 「学習者用端末の授業での活用」と「教職員の働き方改革」「読書活動の推進」

取り組み内容	指標	目標値
・デジタル教材の短時間学習や教科等での活用や日々の「心の天気」の活用、月1回以上の家庭学習の推進をする。	・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した年間授業日の割合	65%以上
・週1回のゆとりの日や月1回の定時退勤デーの設定、学期に1回の校内環境改善に関する話し合いの機会を設けるなど行い、働きやすい環境体制をつくる。	・第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準2を満たす教職員の割合	90%以上
・一度に貸し出しきれる本の冊数を増やしたり、教科学習での活用を学期に1回程度行ったりして多くの本に触れる機会を増やす。	・学校図書館貸出冊数(児童1人当たりの年間貸出冊数)	38冊以上

<特色ある取り組み>

- ・ICT機器、情報を活用する能力
- ・月に1回以上の学習者用端末の持ち帰り学習



デジタルドリル活用モデル校(3年目)

読書が好きになる取り組みの推進

海東の教育

☆本校は、令和7・8年度、「大阪市総合教育センター 実践校」に選定されました！
研究テーマは「総合的読解力育成の充実」。実践を通して各教育ブロックへ研究の成果を広げていく役割を担います。

取り組み内容	指標	目標値
・「総合的読解力育成カリキュラム」に基づく読解力の育成に毎週1時間以上授業として取り組み、自分の考えを整理し、さまざまに表現する機会を増やす。	令和7年度の校内アンケートにおける「自分の考えを整理し、表現できるようになったと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合	80%



☆「多様性を包摂し、一人一人の意欲を高め、可能性を開花させる教育の実現」に向け、柔軟な教育課程編成について検討していきます！
(例)・毎週金曜日の特別校時(40分授業)による学力保障の時間の確保 など

<校内研究テーマ>

「言語活動を通して総合的読解力を育成する」～より豊かな自分の考えの発信・表現を目指して～

【本校のよさ】R6年度末・学校アンケート(児童・保護者)より

□毎日、楽しく学校に来ている 児童92% 保護者95%

□自分にはよいところがあると思う 児童89% 保護者96%

【本校の課題】R6年度末・学校アンケート(児童・保護者)より

□読書が好きである 児童84% 保護者64%

□きまりを守っている

児童96% 保護者95%

□学校の中は安全・安心の取り組みを進めている 児童96% 保護者97%